

過去の水害

2024年7月4日

福移学園
佐藤音心

福移学園過去を見る

福移学園は、本当に、水害があつたのか!?」と、思い資料で調べてみました!

雪解け時期で、福移は、雪が多く降るので、雪が水になり石狩平野大洪水になりました。河川増水し、福移が、水浸しになり、石狩川流域に夏の水害、家屋、農作物に、被害があり、6、7月にかけて又々河川氾濫大洪水全村浸水してしまい、全道をおそつた豪雨に

より河川増水、などなどの恐ろしい水害がたくさんありました。堤防の護岸工事があり、14年もかけた生振捷水路完成し住民の不安が少し取り除かれました。14年かけて川をまっすぐにしたこと川の水位を下げることに成功し洪水被害から救われました。石狩川治水工事第一工区完成 水害の心配なくになりました!石狩川増水、

下福移低地帯床下浸水(雪解けと雨により石狩川増水、氾濫 治水工事後初の水害) 水害被害があつた福移開拓の歴史です。今は、水害のおそれがなくなりました。今は、水害が無いけど福移学園は、いつかは大洪水になる事があると思います。

低地を生かす!?



福移学園に近い道路

福移は、低地をいかしていると思つたので資料で調べてみました。石狩川周辺はアカダモの大量が密生しており、土地を

切り拓いていくのは困難な状況でした。わずかに土地を拓いては、麦、アワ、豆類等を育てましたが、度重なる石狩川の氾濫により

作物は流され生活は悲惨なものでした。さらに、大正中期より石狩川治水工事が始まり、移った先は、牧草や燕麦などの飼料作物に転換し、家畜主体の産業に変わっていききました。岡本氏が石狩川より取水し、本格的な水稻栽培が始まりました。他の農家もこれにならい、続々と水田が増え、農家39戸面積160ヘクタールに達しました。秋は、「一面、黄金色」に染まる田んぼを見渡す中、福移神社の祭典も盛大に行われました。しかし、米の生産が増加する反面、消費が減り、水稻から飼料作物などに転作を余儀なくされ、現在では昔の面影はなくなつてしまいました。

水害は、あつた!?



石狩川

岡崎文吉さん学ぶ

岡崎文吉さんが、廣井勇さんに何を教わつたかについてしらべました。

岡崎文吉さんは、札幌農学校工学科に入学しました。そこで、工学科の教授となつたのが、のちに小樽港湾事務所初代所長として小樽港の北防波堤を建設した廣井勇さんでした。岡崎文吉さんは、廣井勇さんから教えを受け、一番弟子ともいえる関係でした。

石狩川治水工事開始のときに石狩川治水事務所初代所長になつたのが



岡崎文吉さん

岡崎文吉さんでした。岡崎文吉さんは、曲がりくねつた石狩川によって岸がけずられるのを防ぐために、「岡崎式単床ブロック」と呼ばれるブロックを考案し、自然にできあがつた河川には手をつけずに洪水に対応しようと考えました。結局、曲がりくねつた川の管理の難しさなどから、ショートカット(捷水路)が採用されましたが、「岡崎式単床ブロック」は、今でも石狩川下流に残っています。

石狩川を、真っ直ぐにしてくれたのが川の流れが滑らかになりました。

福移開拓百年の歩み

私は、福移の水害について調べていました。

そして、資料を見ていたら「福移開拓の歴史」ってかいてありました。見てみたら水害に関わる事が乗つ

てあつたので福移を知る&水害、一石二鳥です。

「福移開拓の歴史」は、半世紀にわたる水との苦闘である。理想の土地を求め、福岡から土族五十戸

が当別太(のちに「福岡」の「福」と「移住」の「移」をとって「福移」となる)に移住するも、その地は湿地泥炭地で、寒さは想像そうぞうできないほど厳しいものだ。また、あいつぐ石狩川の氾濫により、苦しい日々を過ごすことになる。治水工事によつ

て水害を防ぐことができるようになったが、多くの土地、命を失い、たくさんの人々がこの地を去つていった。先人の血と、涙の苦闘、福移地域のうつり変わりを伝えるべく、小さな記事も分ける範囲でここに書き記す。

私が、この新聞と調べ学習について思つたことは、いろいろな苦勞をして今があると思ひました。なぜかという、昔は、水害の被害が多く家や、作物がだめになり住む人も減少していく一方だつたのです。ですが

編集後記

まだ諦めてない岡崎文吉さんがいたのです。その方がいたおかげでもあり、広井勇さんが、岡崎文吉さんに色々教えてくれたおかげで(記事3) 水害が収まつたことをありがたく思ひました。なので1、5年生で水害がなかったのもなつとくしました石狩川の近くに堤防があり大雨でも大洪水にならないわけに納得するよ

福移学園玄関



全校生徒、先生などなどの協力が必要だと考えます。水害の話にも繋がります。福移は自然に恵まれていますが、岡崎文吉さんのおかげで、石狩川の水害がほぼなくなりました。ですが、生物の生きるところが少なくなっています。なので、生物が生息できる場が必要だと思ひます。難しい問題になります。川を戻せば生物の生息する場所が増えますが、水害がまた増えるかもしれません。川を戻さなければ、生物が生息できません。で、生物を増やす場所が増やせるように努力しなければ増やそうともがいても変わりません。

福井の良さ

福移の自然

福移は自然に恵まれていますが、守るためにも自然破壊をしないように他者の人、

福移の環境

福移は、とても小さい学校です。ですが、環境的には良い方だと考えます。なぜかという、虫や動物が来る=美味しいもの、楽にすずせる温度静かな環境などなどのいいことがあると思つたからです。虫、動物が来たことがわかる証拠は、福移は畑があります。野菜を育てていると、虫がよく土や葉っぱについています。よく野菜を育てて後半ぐらゐのとき狐によく食べられています。